

福岡県老人福祉施設協議会

養護老人ホーム地域（社会）貢献活動調査
報 告 書

福岡県老人福祉施設協議会

目 次

1. 養護老人ホーム地域（社会）貢献活動調査報告書の発行にあたって	1
2. 養護老人ホーム地域（社会）貢献活動 事例	3
3. 養護老人ホーム地域（社会）貢献活動 調査	15
4. 養護老人ホーム地域（社会）貢献活動調査 データ	20
5. 養護老人ホーム地域（社会）貢献調査票	34
6. 福岡県老人福祉施設養護部会 委員名簿	36

養護老人ホーム地域（社会）貢献活動調査報告書の発行にあたって

平成27年2月に社会保障審議会福祉部会の報告書「社会福祉法人制度改革について」が取りまとめられ、社会福祉法人に対して、経営組織の強化、運営の透明性、財務規律の確立を図ることが示されました。

その中で、社会福祉法人は、社会福祉事業を主たる担い手として、制度や市場原理では満たされない生活課題・地域のニーズについて率先して対応していく取り組み＝「**地域における公益的な活動**」が求められており、具体的には、日常生活・社会生活上の支援を必要とする方々に対して無料または低額の料金により福祉サービスを提供すること等が必要とされ、法改正が予定されています。

このことを受け、福岡県老人福祉施設協議会 養護老人ホーム部会では、県内の養護老人ホームで取り組まれているさまざまな地域公益活動を調査させていただきました。その中には、生活困難者や災害時に対応した取り組みなど、それぞれの地域ニーズに即した地域公益活動を確認することができ、改めて社会福祉法人が持つ人材や施設・設備などは、地域の「大きな力」であり、貴重な社会資源であると再確認したところです。

本報告書は、養護老人ホーム部会委員が各施設で取り組まれている地域公益活動を現地での聞き取り調査を行いながら、各施設取り組まれている実践が行政をはじめとする関係機関、地域社会に発信され、養護老人ホーム・社会福祉法人の存在意義を示す1つのツールとしてまとめたものです。調査に御回答いただいた中の一部の紹介ですが、社会福祉法人の使命である地域公益活動を進める一助となる参考として活用いただければ幸いです。

最後に本報告書の調査および取材に御協力いただいた養護老人ホームの皆様にご心よりお礼申し上げます。

平成27年3月吉日

福岡県老人福祉施設協議会
会 長 原 嘉 伸

養護老人ホーム地域（社会）貢献活動調査報告書の発行にあたって

今回、福岡県内の養護老人ホームの地域貢献活動のとりくみの実態を把握すべく、アンケート調査を実施しましたが、各施設におかれましては、大変ご繁忙の中、快くご協力賜りあつく御礼申し上げます。

調査の結果、いずれの施設においても地域貢献活動に熱心に取り組まれている様子がくみ取れまして、大変心強く感じています。

今、養護老人ホームは大きな試練に直面していますが、養護の復権はそれぞれのホームが持っている機能を適切に活かして、地域社会の多様なニーズに応えていく中で、培われていくものであると思います。

それぞれの地域の特性に応じて、更に社会や経済の変化に応じて、より適切な地域貢献活動を、どのように展開していけばよいのか。そうした、私たち共通の課題に、この報告書が、その第一歩を印すものとして、いささかでもご参考になりますれば大変有り難いことと存じます。

お忙しい中、調査、分析、考察等々、たびたびお集まり下さり、ご協議下さいました県養護部会役員の皆様方初め、県老協の担当事務局の方々に深甚の謝意を表し、発刊のご挨拶と致します。

平成27年3月吉日

福岡県老人福祉施設協議会
養護老人ホーム部会
部会長 永 野 教 任

社会福祉法人 慈愛会 篠原の里

〒819-1129 糸島市篠原西2-13-13

TEL 092-322-2429 FAX 092-322-6511

○事例の概要

社会福祉法人慈愛会（以下「慈愛会」という）は、福岡県及び宮崎市に事業所を有する社会福祉法人である。平成24年度から慈愛会が運営している「養護老人ホーム篠原の里」が中心となって、生活困窮者対策であるホームレス支援活動に取り組んでいる。具体的には、福岡市博多区の公園に出向し、そこに集うホームレスの方々へ「生活支援」及び「炊き出し」活動を通して、実態把握及び健康チェック、食事提供を行っている。特に実態把握については、他のホームレス支援団体との連携により、配食はボランティア等、自法人職員だけではなく他法人職員、他機関他団体、大学生等との連携及び協力体制を構築し実施している。また食事提供については篠原の里の利用者が調理・味付けしており、広い意味での「生活互助」の関係をつくっている。またホームレス支援活動に篠原の里の利用者が参加し、主体的積極的に活動に取り組んでいることで、生活の充実につながってきている。そして次第に次の段階である「生活の自立」、つまり中間的就労及び在宅生活の可能性を検討することになっていく。このようにホームレス支援活動の実施は、篠原の里の利用者への波及効果も注目すべき点であるといえる。

《篠原の里の基本情報》

法人名：社会福祉法人慈愛会

開設：平成20年4月1日

定員：50名

職員数：15名（常勤7名 非常勤8名）

夜間体制：宿直

法人の基本理念

私たち一人ひとは、愛される者として存在している。私たちは、利用者一人ひとりを大切な独自の存在として尊重しなければならない。

それは、利用者に係わる職員が、先ず心を開いて自分があるがままに受け入れ、生命を与えられたことに感謝し、同時にお互いをひとりの大切な人として認めあうことから始まる。

私たちは、ひとりの人から、ひとりの人へという触れ合いを、何よりも大切にしたい。

創始者 平田 清正

○取り組みの背景・理由

慈愛会法人理念の周知実践として、

「私たちは、高い理想と向上心を持ち法人理念を実践することにより、社会福祉法人としての使命を果たす」という目標を掲げ、日々利用者援助に取り組んでいる。中でも制度の狭間で悩んでおられる人々への支援は、慈愛会のミッションであると同時に、社会福祉法人のミッションでもある。ホームレス支援活動の取り組み動機については、刑期を終え行くあてがない方を養護老人ホームに迎え入れ、施設生活になじめず無断外出・外泊が続き、捜索を行った際、ホームレスの方々の協力を仰いだ事に端を発している。

現在では、以下の3つの目的を掲げ活動に取り組んでいる。

- ① 公園で生活している方が寒さを一時的に忘れ、「あったかさ」を感じることができるよう支援。
- ② 利用者、慈愛会職員がボランティア体験をすることによる「自己の振り返り」
- ③ 公園で生活されている方々へ相談活動を実施し、自立支援につなげる。

○事業等の内容

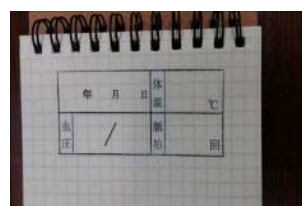
- 1 対 象：福岡市出来町公園で生活している方々及び生活困窮者（平均約50人程度）
- 2 場 所：福岡市博多区出来町公園
- 3 内 容

① 相談支援活動

- ・ 公園内に相談コーナーを設置し、当法人職員が担当し身の上相談を実施。当法人職員で課題解決できない場合は、他ホームレス支援団体へとつないでいる。

② 健康チェック

- ・ 相談コーナーにて、当法人看護師による血圧、検温、脈拍の測定及び健康相談を実施している。また健康チェックの記録は、健康ノートを配布し即定時に毎回記入し、本人が受診時や緊急時等に活用できるようにしている。



相談コーナーと健康ノート

③ 炊き出し

- ・ すいとん汁等の調理・味付けについては、養護老人ホーム食堂で行い、出来上がった鍋を密封し公園まで持参している。（毎回120食分程度）
- ・ 公園に集まったボランティアですいとん汁等配布している。
- ・ 平均50人程のホームレスの方々に提供している。
- ・ すいとん汁の他、お茶、ホッカイロ（冬期のみ）、ちらし（「体調がわるいときに」）を配布



調理風景と配食を待つ対象者の方々

1 実績：平成25年2月～平成27年2月10日現在

・ 対象者及びボランティア

年度	対象者	ボランティア	内養護老人 ホーム利用者
24年度	208名	86名	39名
25年度	695名	249名	114名
26年度	675名	182名	83名
合計	1578名	517名	236名

2 頻度：月1回（第4月曜日 平成27年2月10日現在）

3 その他：必要経費（食材料費、交通費）については、養護老人ホーム利用者作成のマスコットをバザーで販売し売上金を充当している。

○今後の取組みと課題

現在福岡県に369名のホームレスの方々が生活しており、内245名が福岡市で生活している。（厚生労働省「ホームレスの実態に関する全国調査」平成26年1月結果より）目の前の困っている方々への対応と同時に、自立に向けた生活支援が課題となる。そのためには福祉全般を含め生活全般に関係する諸制度について把握し、関係機関との連携や情報共有を図りながら、課題解決に向けた支援が必要である。またこの活動を継続的に実施していくためには「資金面の調達方法」や「活動から事業化」への検討も重要である。今後も社会福祉法人の使命を十分に認識し、制度の狭間で悩んでおられる方々・生活困窮者への取組みを実践していきたいと考える。

社会福祉法人 慈愛会 篠原の里

〒819-1129 糸島市篠原西2-13-13

TEL 092-322-2429 FAX 092-322-6511

○事例の概要

養護老人ホーム篠原の里では利用者の自立支援に力を入れている。自立支援と一言に言っても利用者個々によって目標設定は様々で、様々な自立の形があるため、個々に応じた自立支援計画を作成し、その人なりの自立に向けての支援を行っている。

利用者の中には、入所以前は住んでおられる地域での様々な活動に参加され、地域の中での役割を担いながら生活しておられた方もいる。施設入所を契機に、利用者の社会性は絶たれてしまう傾向は否めなかった。

施設としても様々な自立支援を支えていく立場から、地域の活動に参加できる可能性を模索し、地域の区長に相談をしたところ、折しも地域でも新たに小中学生の下校時の見守り活動を行うことにしているとの話を伺い、地域の方とともに、当番の一翼を担うことになった。

○事業等内容

平成23年5月よりほぼ月一度、地域の方とともに「中央行政区子ども見守り隊」として活動。1回の活動で利用者2～5名、職員1～2名で参加し、下校時の安全の見守りとともにあいさつ運動も展開している。午後3時半から4時半までの1時間程度、隣接している中学校の近くから、施設の前を抜けていく道沿いに立つ。安全確保のため、黄色いキャップと、行政区から配布されたベストと腕章を着用し、当番に臨んでいる。

利用者の中には近所の中学校の同窓生もおられ、「後輩のために」と意欲的、継続的に取り組んでいる方もおられる。「こんにちは」「お帰り」「気を付けてね」等、子どもたちとあいさつを交わすのがとても楽しいと感想を言われる方も多い。また、「見守り隊」は、地域の方とともに行う活動のため、施設についての理解や施設に対しての認知度の向上にも役立っていると感じる。地域の方からは「行政区内にはあるものの、自分たちとはかわりない施設だと思っていったのが身近に感じられるようになった」とうれしい言葉もいただいた。

「見守り隊」の活動以外の自立に向けた支援の中では、手芸が得意な利用者はバザーに出品するためのマスコット作りをしたり、作成したマスコットをバザーで自ら販売したり、余暇活動を充実させるとともに、社会とのつながりも図っている。また、海岸線清掃として、糸島市内の海岸に月に一度出向き、海岸線美化のための活動も継続して行っている。技術を持っている方を活用し、地域の福祉施設の玄関を飾る門松作りも平成21年度より継続して行っている。

このような地域に目を向けた取り組みを行っていく中で、利用者の能力を生かす場を作ることによって施設内での生活も活性化し、人間関係の形成や活動に継続して参加するための健康管理意識の向上等、ポジティブな意識への流れができたと感じている。

今後も利用者と向き合い、職員も協働しながら利用者の生き生きとした生活を支えていくための自立支援していく活動を支えていきたいと感じる。その中で地域と施設の関係づくりも重要であると考えている。



社会福祉法人 天真会 博多老人ホーム

〒811-0291 福岡市三苫東区三苫2-28-41

TEL 092-606-2380 FAX 092-606-2654

○取組みの背景

大正11年（1922）、福岡市内曹洞宗の寺院を中心として始められた天真会の高齢者援護の事業は、行政による社会福祉の諸施策が整備される以前から、「慈悲と慈愛」の精神を基本として、終始、多様な活動を独自に展開してきた。特に、1990年代以降2000年代初めまで、バブルの崩壊、経済の低迷と失業者の増加に加え、自死者が一挙に増加して3万人を突破する状況の中、天真会は、社会福祉協議会の要請を受けて、平成6年（1994）5月の法人役員会において福岡市東区の美和台地区に於いて配食サービス事業を本格的に開始することを議決、今日まで20年以上の長きにわたって本事業を継続しています。

○事例の概要

配食サービスを受ける対象者は、美和台校区の独居老人及び身障者10名程度で、平成6年度からは毎週火曜と木曜の2回、博多老人ホームから美和台公民館に1食450円の昼食の弁当を届ける。公民館は校区のボランティアに依頼して、弁当を対象者のもとに届けるシステムで、利用者は一食当たり400円を負担する。これに社協が事務費等50円を負担するというシステムであった。1年目は1022食から発足したが、4年目には1847食と増加し、その後は増減を繰り返しながら今日に及んでいる。近年、校区住民の高齢化が進み、配食ボランティアの確保が課題となりつつある。

○事業成果

配食サービス事業を通して、博多老人ホームと地域との相互理解が深まってきたことはいうまでもないが、老人ホームとしても、地域の実体やニーズがより深く把握できたため、事業を推進していく上で、大変参考にすべき情報を得ることができ、地域と更に緊密な連携がとれるようになった。その一例が、これまでの配食サービス事業に加えて、平成26年11月から開始した「美和台校区サロン配食事業」で、地域の福祉活動関係者と「ふれあいサロン」に参加する高齢者が共に会食をする場に、昼食（弁当）をお届けしている。11月から4月現在まで、すでに258食を提供したが、献立、味付けなどすこぶる好評である。

食事をされる方が、高齢者だけでなく、福祉活動に関与する一般の地域住民もふくまれているので、施設と地域との相互理解がさらに深まり、博多老人ホームで実施している健康教室や体操などにも参加をさせてほしいという要望もでてきている。



社会福祉法人 新宮偕同園

〒811-0117 糟屋郡新宮町大字上府545-1
TEL 092-962-3225 FAX 092-962-0514

○取組みの背景

法人基本理念に基づき、地域に開かれた施設、ご利用者に「いきがい」のある環境づくりを目指して、体操教室を当施設で運営しようと考え、事業を実行に移した。

また、時に平成18年4月からの介護保険制度の大幅な改正もあり、介護予防の必要性を感じ、平成17年3月の理事会において、リハビリ棟建築承認を受け、平成17年9月完成し、約2千万円の建築費とトレーニング機器（リース）、当初3名の職員を約1カ月の研修等に派遣し技術の習得に励んだ。

○事例の概要

営業時間 月曜日～金曜日

AM9:30～11:30 PM14:00～16:00

新宮町、古賀市、福岡市（東区一部）のご利用者を送迎

初回入会金 3,000円

年会費 1,000円

利用料 500円（1回利用）

個別リハビリ 500円（1回利用）



○事業成果

平成17年10月より事業開始した。当初は数名のご利用者で、広報活動に追われたが、年数が経ち、口コミ等で増え現在に至る。

平成26年12月現在

平均営業日数 21.2日

平均1日利用者数 31.5名

延平均利用人数 667名

月平均利用料収入 441,000円

新宮町元気づくり教室として、数名紹介されるが、月平均3万円ほどで、地域行政の協力は、いまだ乏しい状態である。

人件費、諸経費、保険料を差し引けば赤字である。しかしこの周辺地区のサロン活動の広がりにも協力し、老人ホームに対する地域の理解（この地域に必要であるということ）もこの9年間で変わっていった。



社会福祉法人 恵徳会 双葉

〒818-0111 太宰府市三条1-4-1

TEL 092-922-3557 FAX 092-922-6211

○取り組みの背景

火災のほか、地震や風水害等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備することとし、平成23年度から毎年9月1日を中心として、利用者及び地域住民や隣接施設の職員並びに双葉の職員を対象とした合同の防災教育・訓練の実施を取り組みました。

初めの取り組みとしては、歴史的に地震が起こりにくいと認識されてきた福岡県において、最大震度6弱の地震が（2005年（平成17年）3月20日）、福岡県北西沖の「福岡県西方沖」で発生し、近年においては風水害による災害も多く見られることもあり、もし災害に遭遇したとき（養護）双葉のみでは、利用者の方の避難や安全な生活を確保するための施設継続も困難と思われるし、また地域住民の方においても避難する場所が遠方となる等の理由から施設を中心とした様々な災害を想定しながら、防災教育と訓練（避難・備蓄調理・他）を次のとおり行ったところです。

◇災害時を想定した防災教育・訓練の実施状況について

○実施日時

第1回目 平成23年9月7日（水）午前11時30分から午後13時30分

第2回目 平成24年9月5日（水）午前10時00分から午後13時30分

第3回目 平成25年9月20日（金）

第4回目 平成26年9月22日（月）

○事業等内容

（1）防災教育 / 地震や台風、水害、崖崩れの災害発生を想定しての避難経路、避難場所、避難方法、災害の予兆、安全な生活を維持、確保するためのライフライン、最小限必要な物品などについて行いました。また第2回目以降は、太宰府市三条区自治会を中心に地域住民の方や近隣福祉施設の職員の方にも参加協力をお願いし、地域住民の受入れや支援物資の提供並びに施設要請に対する協力、連絡方法などについて行いました。

第4回目の実施においては、太宰府市総務部防災安全課（防災専門官）の方に協力をお願いし、災害を未然に防ぐための施策取り組み方法や土砂災害の予兆、施設近辺の警戒区域などについての防災講座を行い、災害に対する認識と発生時における対応などについて学びました。

〔防災教育の状況〕



(2) 防災訓練 / 地震発生を想定して、仮設の拠点場所・非常食を準備する場所・避難場所の設置や実際に備蓄している非常食の調理、提供を行いました。



・地域(太宰府市三条区)の方々と協力し合い、備蓄の非常食を調理

※ 利用者の方、地域の方、近隣施設の職員の方、双葉職員に非常食を提供

○非常食、飲料水等の備蓄数
双葉利用者(150 人/3 日分) 地域の方(200 人/3 日分) 職員、他(50 人/3 日分) を備蓄



○事業成果

◇災害時における避難所施設利用に関する協定

○平成24年9月4日付で、太宰府市と養護老人ホーム双葉間で協定を締結しました。

◇災害時における施設利用、協力要請に関する協定

○平成26年4月1日付で、近隣地域(太宰府市三条区自治会)と双葉間で協定を締結しました。避難所としての施設利用のほか、当該利用者の避難及び安全な生活を確保するため、地域住民の方への協力要請や双方の協力体制を構築することを目的に協定を結び、これからの対応策等について行っていく予定です。

◇実際の「災害時の施設避難所受入」

○平成26年中の台風のと看、近隣の住民の方(3回/10名程度)が双葉の避難所を利用されました。

○今後の取組みと課題

○ 地域、近隣施設間と防災教育・訓練を実施してきましたが、もっと多くの方が参加され、災害時における防災の認識向上や発生時における避難所としての利用、更に地域と施設が今よりも密接な関係となることが最大の課題あると思われるところです。

社会福祉法人 恵徳会 双葉

〒818-0111 太宰府市三条1-4-1

TEL 092-922-3557 FAX 092-922-6211

○事例の概要

高齢者に対する虐待事例が増える中、平成20年4月に施設の所在地である市町村と「被虐待高齢者等の緊急一時保護」に関する契約を交わした。対象者は、養護者等による虐待により、生命または身体に重大な危険が生じているおそれがあると認められる高齢者等で、保護にあたっては、市職員、警察署員が担当するという内容である。平成22年4月に「高齢者等緊急一時保護事業」と名称が変更され、被虐待高齢者だけではなく、認知症で徘徊等の危険がある高齢者も含む内容となっている。このような事例は近隣の市町村でも起こっていることから、2つの市とは短期入所の契約を締結し、現在に至っている。

(当該市)

	性別	年齢	入所理由	在籍 日数	退所先
1	男性	80代	認知症のため独居生活の継続困難	95	施設
2	男性	80代	認知症のため独居生活の継続困難	64	施設
3	女性	70代	虐待からの保護	17	施設
4	女性	70代	虐待からの保護	37	施設
5	女性	70代	虐待からの保護	83	施設
6	女性	80代	認知症のため独居生活の継続困難	1	病院
7	男性	70代	金銭面の問題で独居生活の継続困難	142	病院

(その他の市町村)

	性別	年齢	入所理由	在籍 日数	退所先
8	男性	70代	虐待からの保護	28	病院
9	女性	70代	虐待からの保護	5	施設
10	男性	80代	虐待からの保護	165	施設
11	男性	70代	認知症のため独居生活の継続困難	337	入所 継続中
12	女性	60代	虐待からの保護	14	自宅
13	女性	70代	虐待からの保護	7	施設
14	男性	70代	ホームレス	13	施設
15	女性	60代	虐待からの保護	23	入所 継続中

○今後の取組みと課題

平成21年に初めて受け入れを行ってから、平成27年1月末までに計15名の方の受け入れを行ってきた。在籍期間の平均は69日で、一番短い方は夜中に受け入れを行い、翌朝病院に入院された方もおられる反面、次の行き先が決まらないまま1年間入所継続されている方もおられる。退所先としては、虐待事例の場合虐待を行っている養護者の問題が解決しないままに自宅に戻ることは出来ないことや、精神疾患がある方の場合は独居生活の継続は困難という判断から、自宅に戻られる方はほとんどおられず、病院への入院や他施設へ入所される方が大半を占めている。

緊急入所については昼夜問わずに依頼があることから、夜間の受け入れに関して「緊急一時保護入所対応マニュアル」を作成し、生活相談員が出動してくるまでの間の宿直者や夜勤者の対応の仕方について取り決めている。このような取り組みが少しでも地域貢献につながるのであれば、今後も積極的に受け入れを行いたいと考えている。

社会福祉法人 長生園

〒830-0101 久留米市三潯町早津崎407
TEL 0942-64-2458 FAX 0942-64-4791

○取組みの背景

平成23年に社会福祉法人として近隣地域に何か地域貢献が出来ないかと法人全体で検討する。当法人は「地域に愛され、安全・安心な施設づくり」を理念としており、地域でもっとも身近な福祉施設を目指すと共に、福祉コミュニティづくりの一環として、活動を展開することになる。

○事例の概要

デイサービスセンターが休館である日曜日にセンターを解放し、地域にお住まいの高齢者等と地域住民（ボランティア・施設職員等）が気軽に集い、協働で活動内容を決め、「孤立・閉じこもりの防止」「仲間づくりの場」「生きがいづくり」「生活に役立つ情報の提供・情報交換の場」とし、また地域の介護予防の拠点としての役割ができるように様々な活動を行っている。

対象者は、当法人近隣校区の荒木校区・大善寺校区・三潯校区・安武校区にお住まいの自立されてあるおおむね65歳以上の方を対象とし、毎月1回第3日曜日に午前10時から午後3時で活動を行っている。

主な活動として、健康体操・スポーツ活動・リハビリ体操・手芸・お菓子作り・ふれあいレク・カラオケ・園外活動・自主機能訓練等を参加者が自己決定をし、活動に参加されています。

○事業成果

参加者主体の活動実施を目的としているので、参加者の意向に添った活動が実施されている。また、高齢者サービスに関しての情報提供等を行うことで、在宅生活が継続できるように助言等ができています。

施設側としては、運営している施設のアピールができています。

社会福祉法人 福岡ろうあ福祉会 田尻苑

.....

〒819-0383 福岡市西区田尻2542

TEL 092-807-4448 FAX 092-807-4457

○事例の概要

地域で聴覚・言語障害者の老人ホームについての理解を目的として、施設内で行っているフラダンスや手話教室、3B体操などのクラブ活動を発表する事業。利用者にとっては心身のリフレッシュにつながり、地域住民、地域の聴覚障害者の交流の場となっている。

○取組みの背景

施設敷地内の運動場で実施していた「春まつり」を利用者の高齢化と職員のマンパワー不足により、実施が困難になってきていた。しかし、利用者の社会参加と地域住民との交流を目的とした場づくりは重要と考え、平成25年から施設内の多目的ホールで開催し、今年度で2回目を迎えた。

○今後の取組みと課題

田尻苑の喜代美施設長は「聴覚障害者の福祉施設は全国的にみても9ヶ所しかありません。九州では田尻苑の1ヶ所です。まだまだ聴覚障害の施設が必要であると思います。田尻苑発表会では聴覚障害の方々の生活のありようや福祉について地域の皆様に知っていただく機会と捉えて、今後も積極的にPRできればと考えています。地域の中で体調を崩した利用者を地域の方が発見し、田尻苑へ早急に連絡いただいたことで、一命を取りとめた事例もあり、地域住民の方々の理解が浸透しているのを実感しています。今後も実施方法を考えながら息の長い形で継続していきたいと考えています。」と話していただきました。



社会福祉法人 希望の丘 聖母園

〒830-1223 三井郡大刀洗町今491

TEL 0942-77-0085 FAX 0942-77-2983

○取組みの背景

施設が建つ大刀洗町は、筑後平野の北東部に位置し人口も1,5万人程の農業を中心とした町づくりが行われて来ました。元々、各地域で伝統行事や町を上げての芸術文化祭、町民運動会等町民の参加する催し物が多く開催されています。

その中で、養護老人ホームの利用者の方が社会参加と共に町の催し物に参加する事で、施設利用者というよりは町の住民という認識を持つ上で活動しています。

○事例の概要

毎年実施される町のドリーム祭りに俳句クラブ（利用者：7名）・手芸クラブ（利用者：8名）等の作品を展示。また、利用者、職員も町文化協会の会員として祭りの準備から参加しています。

元々、昭和46年頃に施設内に「すみれ楽団」を結成し県内の音楽祭に参加していましたが、町への行事等への参加が無かったのがこの行事への参加のきっかけでした。

俳句クラブの活動としては、平成2年より月に1回地域のボランティアの講師の方から指導を受けながら利用者の方・職員が作品を作り上げています。その作品は、西日本新聞の地元版コーナーにも時々紹介して頂いており利用者の方・地域の皆さんからも喜ばれています。

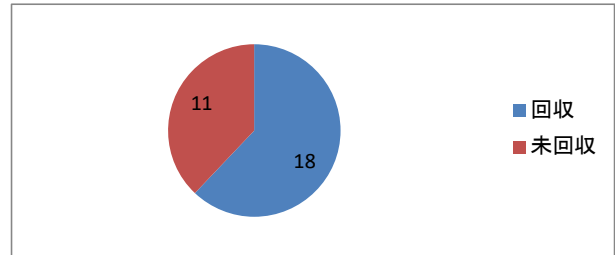
○事業効果

- 1 文化祭等への作品展示により、地域の方への施設の認知度が高まった。
- 2 作品制作により利用者の方の日常生活意欲が高まった。
- 3 利用者の方が大刀洗町の住民として意識を持つようになった。



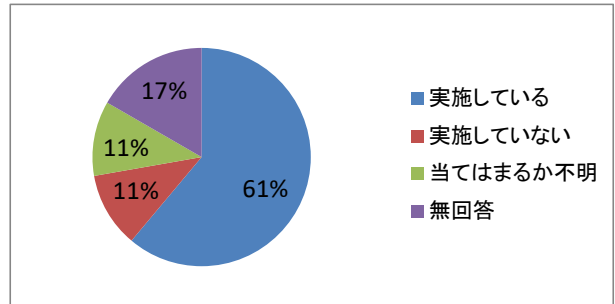
地域(社会)貢献活動に関するアンケート 調査結果

1	送付数	29
2	回収	18
3	未回収	11
4	回収率	62.1%



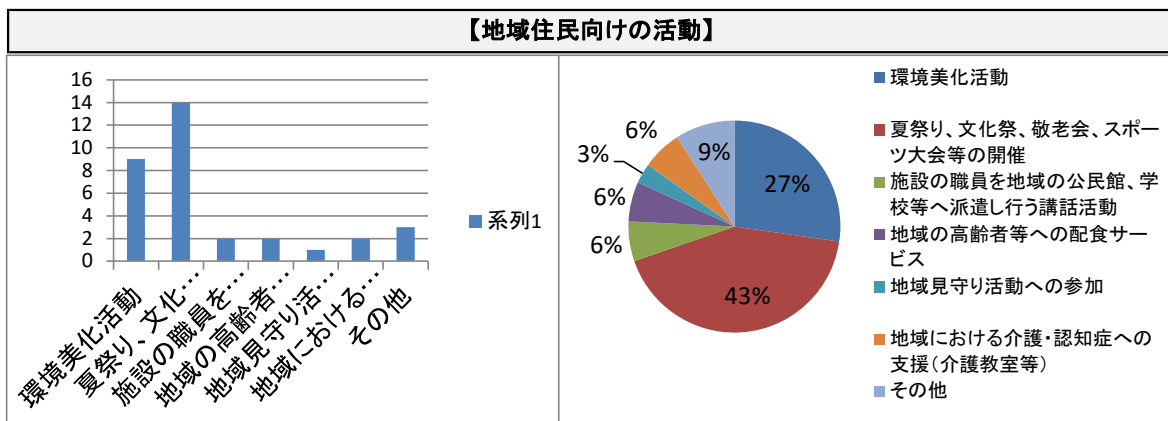
1. 地域(社会)貢献と思われる活動の実施

1	実施している	11
2	実施していない	2
3	当てはまるか不明	2
4	無回答	3
合計		18

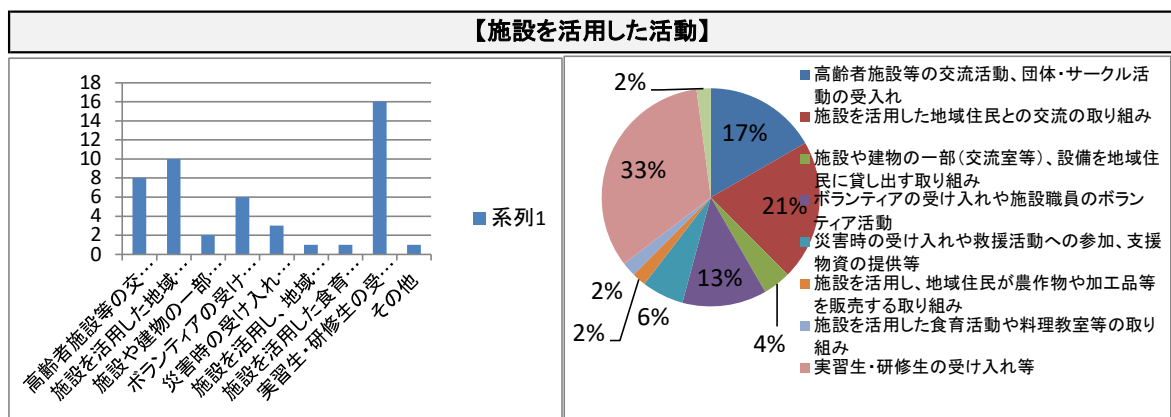


2. 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

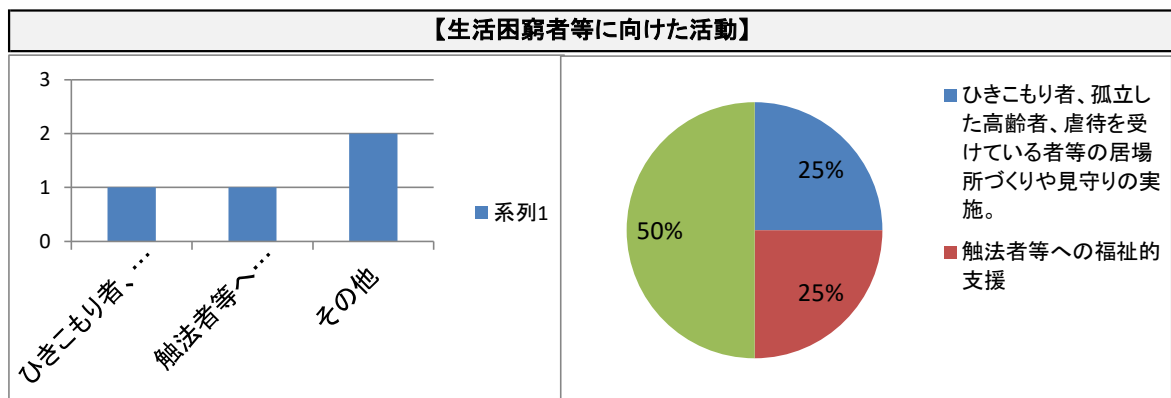
活動種類	【地域住民向けの活動】	実施数	具体的内容
B	環境美化活動	9	神社掃除、行政区環境美化活動、海岸線清掃、道路美化活動、挨拶通り清掃、川と水を守る運動ボランティア
C	夏祭り、文化祭、敬老会、スポーツ大会等の開催	14	秋祭り、夏祭り、町社協主宰フェスタ、地域文化祭、施設発表会、敬老祭、クリスマス会等
D	施設の職員を地域の公民館、学校等へ派遣し行う講話活動	2	地域婦人部への施設概要説明、地域の公民館へ講話・レクリエーション
F	地域の高齢者等への配食サービス	2	介護予防事業、配食サービス
G	地域見守り活動への参加	1	子ども見守り隊
H	地域における介護・認知症への支援(介護教室等)	2	ふれあい食事会、認知症キャラバンサポーター養成
K	その他	3	介護相談窓口、体操教室、地域の餅つき等への参加
実施数		33	



活動種類	【施設を活用した活動】	実施数	具体的内容
L	高齢者施設等の交流活動、団体・サークル活動の受入れ	8	演芸・クラブ活動・レクリエーション活動、幼稚園交流、餅つき、佛教婦人会演芸、ボランティア交流会、ボランティアのクラブ活動、踊り披露
M	施設を活用した地域住民との交流の取り組み	10	市役所・民生委員・地区シニアクラブへの施設概要説明、ふれあい会交流会、民生委員勉強会、かたらん会（施設開放）、行政区一部の訪問、施設杯GB大会、食事会・交流会、地域交流パットゴルフ大会、小学生との交流、保育園との交流
N	施設や建物の一部（交流室等）、設備を地域住民に貸し出す取り組み	2	子供みこし、地域交流センター貸出
O	ボランティアの受け入れや施設職員のボランティア活動	6	外部夏祭りボランティア、散髪奉仕、ボランティア勉強会、折り紙クラブ、母子会ボランティア、自動車企業新人の職員ボランティア受け入れ
P	災害時の受け入れや救援活動への参加、支援物資の提供等	3	福祉避難所、災害時の受入れ（地域交流センター解放）、防災教育（地域及び利用者）
Q	施設を活用し、地域住民が農作物や加工品等を販売する取り組み	1	町の移動市場への出荷
R	施設を活用した食育活動や料理教室等の取り組み	1	外部へ講師派遣
S	実習生・研修生の受け入れ等	16	介護体験、中学校福祉体験、大学ソーシャルワーク実習、アジア学生受け入れ、小学校との交流会
T	その他	1	施設備品の貸し出し
実施数計		48	



活動種類	【生活困窮者等に向けた活動】	実施数	具体的内容
Y	ひきこもり者、孤立した高齢者、虐待を受けている者等の居場所づくりや見守りの実施。	1	緊急保護入所、短期入所受け入れ
Z	触法者等への福祉的支援	1	触法者受け入れ
AA	その他	2	ホームレス支援活動、出所者受け入れ
実施数		4	



※赤字の活動種類は施設の50%以上の実施

考察及び結果

- 養護老人ホームで地域（社会）貢献活動を実施しているという回答は18施設中11施設であった。
- 活動の種類別では、【施設を活用した活動】（実施数48）が最も多く実施されており、次いで【地域住民向けの活動】（実施数33）、【生活困窮者等に向けた活動】（実施数4）という結果だった。
- 【施設を活用した活動】では、「実習生・研修生の受入れ」で実施数が16あり、【施設を活用した活動】の33%を占めている。
- 「実習生・研修生の受入れ」の具体的内容をみると、介護体験・福祉体験・ソーシャルワーク実習・アジア学生の受入れと多岐にわたっている。
- 「高齢者施設等の交流活動、団体サークル活動の受入れ」は実施数8あり、内容をみると、演芸やクラブ活動及びレクリエーション活動といった「利用者の生きがい活動につながる活動」、ボランティア団体等による演芸等の活動といった「利用者がみて楽しめる活動」に大別できる。
- 「ボランティアの受入れや施設職員のボランティア活動」は実施数6あり、内容はすべてが、「ボランティアの受入れ」であった。
- 【地域住民向けの活動】では、「夏祭り・文化祭・敬老会・スポーツ大会の開催等」が多くみられ、実施数が14あった。この結果は、「施設を活用した地域住民との交流の取組み」（実施数10）、「環境美化活動」（実施数9）と合わせ考えると、各施設が「地域との交流」や「地域との連携」を重視し、地域に対し積極的な取組みを実施していることを表していることが言える。
- 「施設の職員を地域の公民館、学校等へ派遣し行う講話活動」の実施数が2みられている。内容としては「地域婦人部への施設概要説明」、「地域公民館へ講話・レクリエーション」を実施し、地域への施設周知やアプローチに取り組んでいる施設があった。
- 「地域の高齢者等への配食サービス」実施数2あり、地域ニーズに合わせた取組みを実施している施設があった。
- 「地域における介護・認知症への支援（介護教室等）」実施数2あり、「その他」の介護相談窓口と合わせ、地域へ向けた介護の取組みを実施している施設があった。
- 【生活困窮者等に向けた活動】については、実施数が4あった。内容はいずれも養護老人ホームのセーフティネットの役割を表しており、重要な今後の取組み課題となっている。

課 題

課題については、「考察及び結果」から以下の点があげられる。

○ **地域（社会）貢献活動の実施について、必ずしも全施設で取り組みを実施しているわけではない。**

- ・ 地域（社会）貢献活動は、養護老人ホームだけに求められる活動ではなく、社会福祉法人として求められている。但し、養護老人ホームだからこそできる活動の検討も必要。

※社会福祉法第24条参照

※地域（社会）貢献活動については、第11回社会保障審議会福祉部会（平成27年1月16日）にて「基本視点」「考え方」等が明確になっているため参照

○ **配置基準上職員数が少ないこともあるが、全体的に施設に受け入れる活動が多く、地域に出向く取り組みができていない**

- ・ アウトリーチ等の活動により、地域のニーズ把握に努め、地域へ向けた活動展開を考える事が大切。
- ・ 施設機能を洗い出すことによって、地域に対し何ができるかを検討

○ **生活困窮者等に向けた活動が少なく、セーフティネットの役割を果たしているとは言えない。今後どのように役割を担保していくのか。**

- ・ 精神疾患や触法者等の困難事例（等）への積極的対応が必要で、そのためには職員の専門性を磨く。つまり「職員の質」を上げるための研修や学習システム構築が求められる。
- ・ 行政や関係機関等と情報共有し、連携を密に行う必要がある。

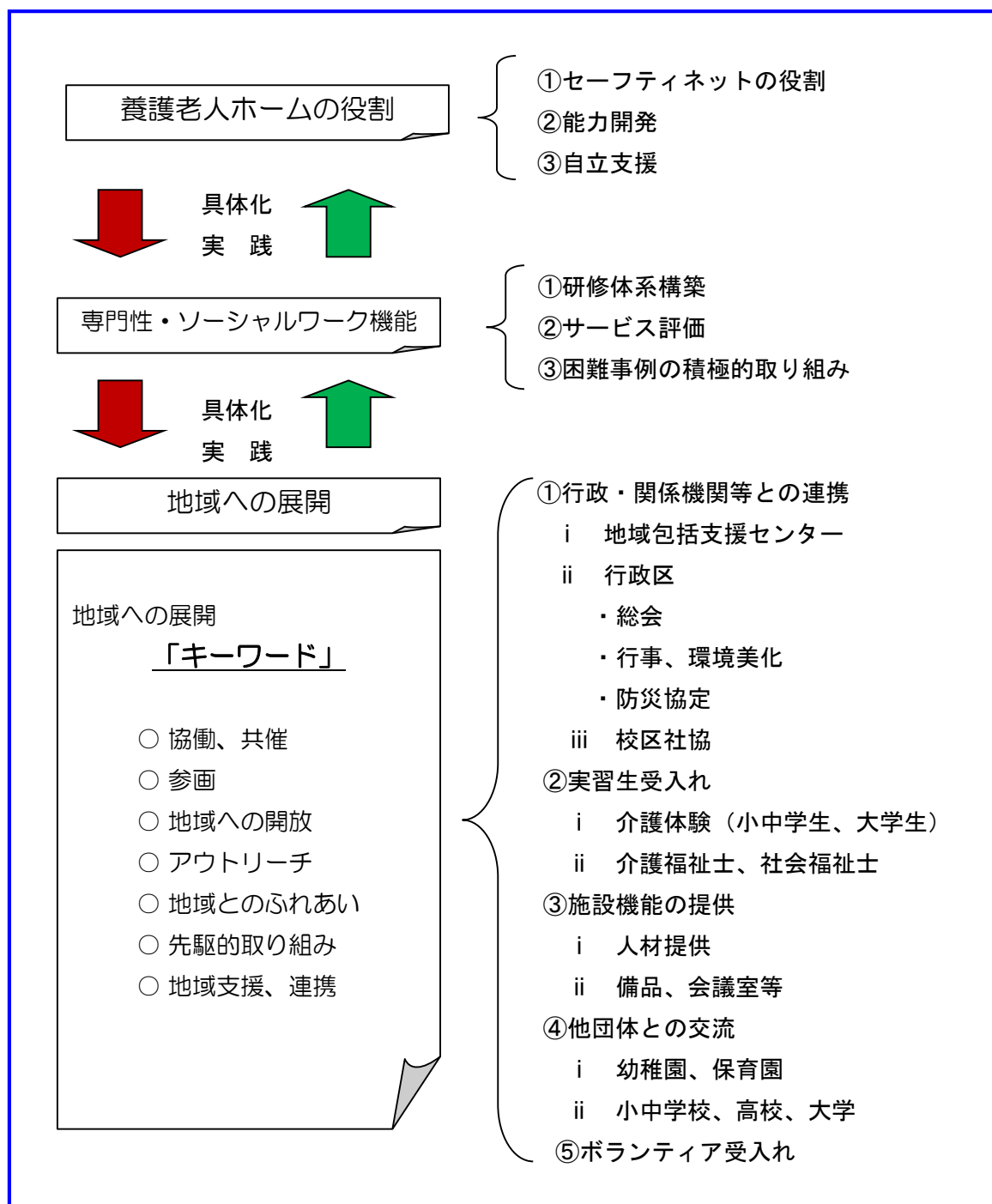
まとめ

今後地域へ向け取り組んでいくためには、施設機能を洗い出し、どういった活動が地域展開可能であるかを検証する必要がある。また並行して地域にどのようなニーズがあるのかの把握も必要である。そのためには総会や地域行事に積極的に出かけ、直接「見たり」「聞いたり」することが大切であると感じる。**本来地域で生活している方々と共に、苦楽を共にすることは、地域の一員として当然のことであり、協働することが楽しみとなるように取り組むことができないと、活動自体が長続きしないと考える。**

今後に向けた提案として、地域展開に向けてフローチャートを考えてみた。特にキーワードを意識して地域展開に取り組むと、取り組みやすいのではないと思う。但しこのチャートは（案）でありすべてを網羅しているわけではないので、活用に当たっては各施設や地域の状態で加筆修正頂きたい。

今後に向けた提案

地域展開フローチャート図（案）



地域(社会)貢献活動に関するアンケート

目的 ①養護老人ホームで既に実施(取り組み予定を含む)している「地域(社会)貢献活動」の実態把握及び実例を紹介することで地域(社会)貢献活動の認識を深める
②上記の結果を「措置機関」及び「関係機関」に紹介して、積極的に養護老人ホームの実態への理解を深める一助にする

A施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	C	秋祭り	地域、入居者、家族との関わり		施設利用者 外部ボランティア			地域、家族との関わりの為継続	
2	D	施設概要説明(外部)	盲養護老人ホームの概要、内容の説明	県盲人会婦人部からの依頼	施設長、利用者2名で参加	県盲人会婦人部	婦人部より施設見学の声を頂く	盲人会との関係を継続	
3	M	施設概要説明	盲養護老人ホームの概要、内容の説明	地域の福祉施設の現状と理解	施設長 相談員	市役所 民生委員 地区老人クラブ	初めて見学された委員の方から、実際に施設にきた事で、色々と理解できたと言声頂く	地域、市役所との関係を今以上に密に取る必要がある。	
4	L	演芸・クラブ活動 レクリエーション活動	余暇活動の一環として	個室化により、居室で過ごされる方が増えたため	利用者、職員、外部講師		普段体を動かす事の少ない利用者も参加され、継続で講師に依頼	回数を増やし、居室で過ごされる方を少しでも減らしていく	
5	S	介護等体験実習	施設利用者の環境整備等	大学のカリキュラムとして	施設長 相談員 支援員 利用者	大学 県社協	学生からは施設での生活内容について理解が深まったと言声頂く	介護系の学生の実習の受け入れ体制の確保	
6	O	外部夏祭りボランティア	模擬店の準備、販売	施設間での交流	施設長 相談員 支援員 看護師		違った施設の行事等を体験する事で、今後自施設でも取り入れる内容が見つかった。		

B施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	B	神社掃除	毎月一回の神社清掃活動	地域に貢献するため	施設入所者とともに参加		入所者の自立支援と神社美化	高齢化による活動の継続	
2	C	夏祭り	イベントや飲食提供による地域交流	入所者との交流を深め施設を理解して頂くため	職員及びボランティア	社協ボランティア	地域住民に当施設を知ってもらう為	入所がない事による経費等(運営)	
3	S	中学校福祉体験	福祉施設での仕事のノウハウについて体験する	中学校より依頼	中学生		学生に福祉施設の大切さを学んでもらう	職員の業務煩雑による受け入れの有無	
4	N	子供神輿	休憩所の貸し出し	子供みこし会より依頼	子供みこし会、鶴亀会		地域活性の援助	なし	
5	L	幼稚園慰問	入所者と園児のふれあい及び演芸	幼稚園より依頼	入所者と園児		入所者と園児の関わりと楽しみ	事故防止	
6	L	餅つき	杵と臼を使った餅つき	4Hクラブ(地域の自営農家)より依頼	4Hクラブ及び職員と入所者	うきは市農政課	つきたての餅の提供	入所者の窒息事故の危険性による継続	
7	L	本佛寺婦人会	婦人会による演芸	本佛寺婦人会より依頼	本佛寺婦人会		観賞による楽しみ	なし	
8	O	散髪奉仕	約月一回の入所者の散髪	理髪店よりボランティアとしての活動依頼	施設理髪室、理髪店職員		入所者の整髪	継続	

C施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	H	Aふれあい食事会	地域公民館で行われている食事会へ講師として参加	地域のふれあい会より講師依頼があり、長年参加させて頂いている	職員が講師となる	Aふれあい会役員さんとの連携		地域との共同活用の継続	
2	L	バラの会交流会	バラの会さんがお茶を立てて頂き、入居者に飲んで頂いている	来園希望があり、定期的に実施している	施設入所者とともに参加	地域のボランティアさんとの連携			
3	M	ふれあい会交流会	地域のふれあい会さんに園に来園して頂き、入居者との交流会を行っている	定期的に地域公民館で行われている交流会を園施設で行いたいと依頼がある	施設入所者とともに参加	地域のふれあい会さんとの連携		地域高齢者との交流活動の継続	
4	M	M民生員勉強会	民生員さんに施設見学や施設概要の説明、福祉サービスの説明をする	民生員さんが交代する時期に依頼がある	職員が講師となる	M民生員さんとの連携	当園を理解して頂けた		
5	S	K大学実習	福祉現場実習	学校より実習依頼あり	職員が講師となる	学校との連携		福祉業界人材確保	
6	S	N大学実習	福祉現場実習	学校より実習依頼あり	職員が講師となる	学校との連携		福祉業界人材確保	
7	M	かたらん会	地域の介護認定がおりていない高齢者を定期的に施設を開放して過ごして頂く	当園の独自の地域貢献		地域の高齢者との関わり	当園を理解して頂けた		

D施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない ○活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	S	実習生受け入れ	資格取得のための現場実習	人材育成協力		大学、短期大学、専門学校等からの依頼	実習生の技術向上	受入れの継続	

E施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	B	行政区環境美化活動	行政区内のゴミ収集活動に参加	行政区の運動会に参加した事がきっかけで直前に行われる活動に参加	一部職員のみ参加	行政区との連携	行政区とのつながりを保持できる	行政区との共同活動の継続	
2	C	夏祭り	地域住民及び入所者の家族を招いて、盆踊りや食事を提供	開設当初から地域の皆様への御礼として始まった行事	入所者と職員、さらにはボランティアを受け入れ開催	同 上	同 上	同 上	
3	M	行政区の一部の方達の訪問	餅つきや歌と踊りによる交流会	家族や住みなれた土地を離れて寂しい思いをしてある入所者を慰めるために始まった	施設内で入所者とともに交流	同 上	同 上	同 上	
4	C	町社協主催の「ひまわりフェスタ」への参加	年1回のバザー持ち出しによる参加	福祉活動へのささやかな協力として活動に参加	一部職員と一部入所者(楽器演奏)とが参加	町社協との連携	町の社協や地域の方達との連携が図れる	さらに強いつながりをどうしたら持てるか	

F施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	B	S行政区環境美化活動	地域の環境美化活動に施設として参加	施設利用者も同じ地域で生活しているため、環境美化活動に参加することによって地域の一員としての意識を高める。	利用者から参加者を募り、職員とともに参加	S行政区との連携	地域の一員であるという意識が高まった。	活動の継続	
2	G	S行政区子ども見守り隊	小中学校の下校時の安全の見守り	地域の子どものたちの安全を守るとともに、挨拶を通しての交流、嫣然育成を図る。	利用者から参加者を募り、職員とともに参加	S行政区との連携	地域の一員であるという意識が高まった。		
3	P	福祉避難所	災害時要援護者の受け入れを行う	福祉施設として備えているハード、ソフトで地域の要援護者の受け入れを行う	施設機能の提供	I市からの委託		I市との連携	
4	S		・介護体験 ・社会福祉士実習 ・職場体験(中学生) ・職場見学(小学生) ・韓国学生研修 ・アジア研修生の受け入れ	各学校、団体からの依頼を受け実施	各職種で対応	各種学校、社協等との連携		受け入れの継続	
5	AA	ホームレス支援活動	ホームレス生活の方等に公園で食事の提供を行うとともに、健康等の相談活動を実施。	ホームレスの方との交流する機会を通じて、社会福祉にかかわるものとしての原点に返り、自分たちの提供できるかわりで支援を行う必要性を感じたため。	法人内での連携を行い、ボランティアとして参加を募る	サポート団体、行政との連携	社会福祉にかかわるものとしての意義の確認。利用者参加による意識の向上と自立支援に向けたサイクルの形成。	継続した活動の実施	
6	B	海岸線清掃 (合同海岸線清掃)	地域の海岸の清掃活動を継続して実施し、地域に貢献できることを体感する。	環境美化の取り組みとして、糸島の美しい海岸を守る活動を提案、実施に至る。	利用者に参加者を募り、職員とともに実施。	地域で継続的に海岸線清掃に取り組んでいる団体とも連携を実施。	地域の活動に参加する、という喜びが利用者に生まれた。	継続した活動の実施	
7	T	施設備品の貸し出し	施設備品を各種団体のイベント時等に貸し出しを行う。	地域への貢献	備品の貸し出し (テーブル、椅子等)				

G施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	S	ワクワクワーク	地域の中学生を5日間受け入れ、入所者とコミュニケーション		入所者と共に参加	M市	入所者が明るくなった	入所者のADLが低下傾向なので体験内容を検討	
2	S	介護等体験	大学生を年間50～60名受け入れ入所者とコミュニケーション		入所者と共に参加	F県社会福祉協議会	県外の学生が多く、出身地の話が聞け入所者に良い経験になっている。	入所者が学生に慣れてきた事で、不満等が聞かれる。	

H施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	C	秋祭り	地域の方を活かした秋祭り	法人として今まで夏祭りをしていたが、ご利用者の高齢化による	利用者中心で地域住民参加	なし	何か特別に変化なし	行事として継続	
2	F	介護予防事業	月～金曜日 午前午後運動教室を行う	介護保険事業で介護予防を謳われるようになってから、必要性を感じた	S町住民を中心に一日約30名～約40名	行政のほんの少しの揚力	行政区を問わないサロン化	月間70万円程の赤字	
3	AA	出所者受入	生活困窮者となった出所者の受け入れ	F刑務所から高齢出所者多数ということから	直接ではないがホームレス等の措置から受入れ	全くなし	犯罪抑止	行政の措置控え(M市・S町)	

I施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	B	クリーン大作戦 (道路美化活動)	町内の県道14号線沿道のゴミ拾い活動を年に2〜3回実施。	25年度S地区養護部会の研究会の課題として「地域貢献」をテーマに選定。そこで利用者と共に清掃活動行うに至った。	施設利用者・職員がごみ袋を持参して実施。	なし	利用者にとって、地域の役に立っているという自覚につながった。	行政区との共同活動の検討。	行政区の実施している美化活動は早朝からの実施であるため、施設利用者の参加には検討が必要。
2	C	T町ドリーム祭り作品出展 T町文化協会芸術祭参加	毎年実施される大刀洗町の文化祭に俳句クラブ、手芸クラブ等の作品を展示、また文化協会芸術祭の展示会には俳句クラブが出展し町の文化事業に参加貢献している。	利用者の社会参加とともに、大刀洗町の事業に参加することで施設利用者というより大刀洗町住民という認識を持つうえで活動している。	施設利用者・職員の毎月の手芸クラブ、俳句クラブの作品から選定して出展、	T町教育委員会 T町文化協会	T町教育委員会・文化協会にも当園の活動が認められ参加要請を頂いている。そのことにより利用者も誇りを持って参加できている。	企画、運営などにも関わった活動へと発展	
3	M	S園杯ゲートボール大会	年に2回(春・秋)、地域の利用者を招待してゲートボール大会を開催	地域の高齢者との交流を目的に開始。当初は年に1回の開催だったが、地域の方の希望もあり、年に2回にして継続している。	施設内の敷地にゲートボールコートを整備し、施設利用者・職員が会場設営を行い、試合の組み合わせ、審判等の大会運営は町のゲートボール連合の役員さんと合同で実施	T町体育協会 T町ゲートボール連合会	毎年恒例の行事となっており、施設利用者も職員もゲートボールチームの方々と顔なじみとなって、交流の場、活性化の場となっている。	ゲートボールからグランドゴルフへと競技人口が変化してきておる、今後がグランドゴルフへと切り替えていく必要がある。	
4	O	ボランティア勉強会	ボランティアグループを定期的に受け入れており、年間計画の中で、介護等に関わる勉強会を開催している。	ボランティアグループからの要望で、当初は介護保険制度に関する勉強会から始まった。	施設職員とボランティアグループとの活動計画についての意見交換会の中で勉強会のテーマを決定。資料、機器等は施設で準備。	なし	施設職員が講師となって、ボランティアグループからの要望に応じて勉強会を開催しており、職員のスキルアップにもつながっている。	年間を通して活動しているボランティアグループに対する勉強会を、今後は地域の誰もが参加できるような活動へ展開	
5	Q	さくら市場への出荷	手芸クラブで製作している作品をT町の移動市場「S市場」に出荷している。また施設内にも「さくら市場」に来ていただき、施設利用者も活用している。	T町の特産物、手作り物を出張販売する「さくら市場」に手芸クラブの作品を出荷することで、S園をアピールできると考えてから始まった。	施設内で活動している手芸クラブの利用者・職員で作品を製作し、パッケージして出荷する。	T町地域振興課	T町移動市場「S市場」では、S園手芸クラブの「はなふきん」が定番の商品となりつつあり、お客様からのリクエストも出ている。利用者にも製作意欲が湧いて地域の方とのつながりを実感している。	「S市場」のお客様のリクエストに対応できるような制作技術の確保。「さくら市場」企画者との交流会の検討	
6	S	T小学校との交流会	年に3回 T小学校4年生との交流会を実施。	単発的に行っていた小学生との交流会を定期的に目的を持って実施したい、との思いから計画的に実施となった。	施設職員とT小学校との合同企画	T小学校	毎年、T小学校4年生との交流会が実施されることで、地域の中で見知った子供たちには利用者から声をかけるようになってきた。また小学生からの声かけもある	町内の他の小学校との交流会開催を検討	

J施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	C	夏祭り	地域住民、利用者家族との触れ合いと、祭りを一緒に楽しむ	地域住民への施設開放と交流	施設利用者・利用者家族	H地蔵区長・民生委員の参加の呼びかけ	地域の方に施設を知ってもらう	行政・地域との活動継続	
2	C	文化祭	地域住民、利用者家族への作品展示、催し物を一緒に楽しむ	地域住民への施設開放と交流	町内の資材・展示物の依頼	町長・区長・社協・民生委員へ案内状を出し、参加の呼びかけ	地域の方に施設を知ってもらう	行政・地域との活動継続	
3	M	H地蔵区交流会	地域の老人会の方々との食事会・交流会	地域住民への施設開放と交流	施設利用者と参加地域老人会	地域老人会との連携	地域の方に施設を知ってもらう	老人会との活動継続	
4	O	折り紙クラブ	利用者の方へ季節にちなんだ内容の折り紙作り	利用者と地域住民との交流	施設利用者・ボランティア	ボランティアとの連携	手先を使って自分で作った喜びがある	ボランティアとの活動継続	
5	O	母子会ボランティア	利用者の方との会話や作品作りの手伝い	利用者と地域住民との交流	施設利用者・ボランティア	ボランティアとの連携	昔の話に合わせ、話がはずむ	ボランティアとの活動継続	
6	S	福祉施設体験	利用者との会話や利用者の一日の流れ	地域学生たちの学習とボランティア	施設利用者・ボランティア・施設職員	地域の小中学校や社協との連携	孫世代と話ができ、励みになる	行政・学校との活動継続	
7	B	H地蔵区クリーン運動	年2回の地域環境美化活動	地域住民との環境美化活動を通しての交流	施設職員	区長・住民との連携	地域住民との交流が図れる	環境美化活動の継続	

K施設

1 地域（社会）貢献と思われる活動を実施していますか？（ 実施 している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明）

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類（下記から選択ください）	②施設での活動名	③活動概要（50字程度）	④活動に至った背景（50字程度）	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	C	T苑発表会	施設内で行っているクラブ活動の発表会(フラダンス 手話ダンス 3B体操 ヨーガクラブ等のクラブ発表、地域交流)	地域において聴覚・言語障害者老人ホームを理解して頂くため	施設利用者とともに参加	ボランティア団体への出演依頼	地域の聴覚障害者の交流の場となる	キャパシティの問題	
2	L	クラブ活動	手話、メイク、手芸、ゲーム等外部のボランティア団体を受け入れ施設利用者との交流	各種ボランティア団体との関係作り	施設利用者とともに参加	ボランティア団体との連絡	施設利用者が外部の方との交流となり、地域の方が手話での関わりを持つことができる		
3	R	外部講師派遣	障害者団体等での学習会に施設職員を派遣し、在宅生活の聴覚障害者への情報発信を行う。また施設で行っている栄養教室での内容を外部で行う。	障害者団体、地域の方からの出演依頼	施設職員を派遣	団体との連絡	障害者団体との連絡を密にとることが可能となり、地域の障害者からの相談等が可能となった。	派遣職員が通常業務との両立	
4	S	実習生・研修生受け入れ位	介護等体験、栄養士、福祉士現場実習生、中学校職場体験の受け入れ	各団体からの依頼	実習生、施設利用者	各団体との連絡	学生が社会福祉施設で障害との関わりを持つことで福祉に興味をもつ機会となる	施設側の受入対応が増加すると、通常業務への負担となる	

L施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？(実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	F	配食サービス	契約した地区公民館へ毎週火・水曜日に弁当を届けている。	地域からの希望による。	民生委員の方が各利用者宅へ弁当を届けてくださる。	民生委員の方との連携	施設の事を知っていただく機会にもなり、地域との交流にもつながった。		
2	K	介護相談窓口	高齢者に関わる、介護や介護保険に関する相談窓口開設している。	地域に高齢者も多く、日頃から相談等の問い合わせもあった為。	施設の専門職で対応している。	相談内容に応じ各関係機関と連携。	相談窓口を開設したばかりであり、今後も継続し地域に貢献していきたい。	相談窓口を地域に広めていく必要がある。	
3	K	体操教室	月2回地域の方にむけ、体操教室を行っている。	介護予防の一環として。	病院の専門職と連携し、指導にも来ていただいている。	病院との連携。	今後も継続し地域に貢献していきたい。	参加者を増やす為の広報活動。内容の充実。	
4	P	災害時の受入れ	災害時は地域の方へ、地域交流センター等を解放する。			地域との連携。			
5	S	実習生の受入れ	介護等体験、社会福祉士、栄養士の実習生を受け入れている。		施設の専門職で対応している。	各学校との連携。		実習生に対する満足度等確認し、内容の充実を図る。	
6	N	地域交流センター貸出	地域の舞踊等の披露の場として地域交流センターを貸し出している。	地域からの利用希望があった為。		各地域、団体との連携。	施設入居者も見学させていただき、楽しまれている。		

M施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	B	〇市(地区)美化活動	年2回(〇市)2回(地区)ほど〇市一斉清掃に参加している。それに加え年1回法人独自で地域の清掃を行っている。	隣組との連携を模索していた中、総会などに積極的に参加するうちに、様々な行事への声掛けをして頂けるようになった結果	施設利用者とともに参加	地域との連携	地域の方々より、地域の一員として認めて貰えた	法人発信で行っていく	
2	C	夏祭り、文化祭、敬老祭	それぞれに年1回開催し、地域への開放も行い、交流に努めている。	地域への還元を1つの目的として	地域の行政や民生委員など様々な方々へ案内し交流の場所として提供	地域との連携	普段交流できない方々との交流の場となっている	新たな展開を模索中	
3	D	地域の公民館へ	地域のいきいきデイなどに出向き講話やレクリエーション指導などを行っている。	講話の依頼があった為	必要に応じては施設利用者も参加	地域との連携	法人を知って貰う事が出来た	引き続き行っていく	
4	H	地域における認知症への支援	認知症キャラバンでサポーター養成を積極的に行っている、	地域の認知症サポーターを普及させるため、養成講座を受講し講師となり様々所へ出向き養成を行っている。			対象者が限定されている傾向がある。更に新たに開拓の余地あり	今後更に増やしていく	
5	L	サークル活動の受け入れ	地域のサークル活動の拠点として施設を開放し、発表の場としてなど受け入れを行っている。	地域の総会に参加時に相談依頼あり	更に施設と地域の繋がりを強固なものにしていく				
6	S	実習生の受け入れ	各団体や学校等より受け入れ依頼あり				受け入れることによって、職員側のスキルアップにも繋がっている。		

N施設

1 地域（社会）貢献と思われる活動を実施していますか？（実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明）

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類（下記から選択ください）	②施設での活動名	③活動概要（50字程度）	④活動に至った背景（50字程度）	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	B	A通り清掃	地域にある公園の清掃活動を、毎月1回利用者・職員で実施している。	利用者がその公園で昼間から飲酒してベンチに寝転んでいることが度々あったため、地域住民としての自覚を持っていただくことを目的として始めた。	施設利用者とともに参加	地元行政区の区長より、2度感謝状をいただいております、利用者の励みになっている。	A通り清掃を始めてからは、公園で飲酒されることはなくなったことで、自覚につながっていると思われる。	年に1回程度シルバー人材が草刈りをされているが、回数が少ないことからその点について協議が必要と思われる。	
2	C	Sサマーフェスティバル	夏祭りの計画から準備・実施・後片付けまで地域と共に行い、予算も按分している。	当施設が県立の頃はほとんど地域との交流はなく、地域の夏祭りも上記の狭い公園で行われていたことから、共同開催を提案した。	施設利用者・職員・地元住民・ボランティア	施設職員と地元行政区の区長初め役員が中心となり、連携はスムーズに出来ている。	利用者と地域住民が顔見知りになったことで、施設外でも挨拶を交わすことが多くなった。	今の所特に課題はない。	
3	K	地域の餅つき・ほっけんぎょうへの参加	地域で行われる餅つき・ほっけんぎょうに利用者・職員が参加し、お手伝いをさせていただいている。	地域でも参加者が少なく、特に餅つきは人出が足りないとお聞きしたことで、参加するようになった。	施設利用者とともに参加	地元行政区との連携	地元住民から感謝の言葉を伝えられることで、励みになっていると思われる。	今の所特に課題はない。	
4	M	地域交流パットゴルフ大会	年に1回地元住民を招待し、利用者とともにパットゴルフを楽しんでいただいた後に、昼食会を行っている。	以前は施設内にあるグランドゴルフ場を地域に開放していたが、増築工事によりなくなったため、新たに作ったパットゴルフ場に招待するようになった。	施設利用者・職員・地元住民	地元行政区との連携	地元住民に施設を理解していただく機会になっている。	今の所特に課題はない。	
5	P	防災教育	年に1回施設利用者・地元住民を対象とした防災教育を実施し、昼食に出す非常食の準備・試食も職員とともにやっている。	以前は施設利用者の方のみの防災教育を実施していたが、当施設が災害時の避難所指定協定を締結したことで、地元住民にも参加していただくようになった。	施設利用者・職員・地元住民・近隣施設職員	地元行政区との連携	台風の時などに、地元住民が3回計10名の方が避難して来られた。	地元住民の参加者がもっと増えるような努力が必要と思われる。	
6	S	社会福祉士職場体験実習	毎年社会福祉士の資格に必要な現場実習として、2名の実習生を受け入れている。	社会福祉士養成に貢献するという目的と、ともすれば閉鎖的になりがちな施設に、外部の空気を取り込みたいという考えから行っている。	職員・法人内施設職員・近隣の病院職員	大学との連携	職員にいい意味での緊張感が生まれる。	今の所特に課題はない。	
7	Y	緊急保護入所、短期入所の受け入れ	DV等で緊急入所の要請があった場合には、昼夜を問わず受け入れを行っている。	高齢者虐待が増加している状況の中で、被虐待高齢者の安全を第一に考え、夜間でも相談員が出勤し対応にあたっている。	職員	市町村・警察との連携	受け入れた高齢者の心身の安定につながっている。	今の所特に課題はない。	
8	Z	触法者実習受け入れ	介護福祉初任者研修の実習施設として、計8日間の受け入れを行った。	養成校が実習先を探す中で、少年院を出ているということで実習先が決まらず、このままでは卒業が出来ないとの相談を受け、当施設が受け入れを行った。	職員	養成校教員との連携	生活困窮者自立支援事業を推進していく上で、職員もいい経験となった。	実習内容など検討の余地がある。	

○施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？(実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	B	川と水を守る運動ボランティア	施設西側に溝があり毎年5月の第2日曜日に職員が参加し溝の浚渫作業を実施している	溝が施設と隣接していることもあり参加するようになった	以前は入所者とともに参加していたが高齢化に伴い現在は職員のみ	N町行政区との連携	地域住民の皆様との連携強化につながっている	移転改築を予定しているので新たな地域との連携	
2	C	夏祭りの開催	踊り、ゲーム、歌合戦などを実施している	ご家族や地域住民の方々にも参加を呼びかけ実施している	入所者、ご家族、地域住民そして職員が参加	ご家族及び地域住民との連携	ご家族及び地域住民の皆様との連携強化につながる	移転改築を予定しているので新たな地域との連携	
3	C	敬老会の開催	理事長及び市長の挨拶後踊りやカラオケなどのアトラクション	永年にわたり社会に尽くしてこられた方を敬愛し長寿を祝うために実施している	アトラクションには地域の女性部の皆様に参加していただいている	地域の女性部の皆様との連携	地域の女性部の皆様との連携につながる	移転改築を予定しているので新たな地域との連携	
4	M	小学生との交流	C小3年生が来園しレコーダーや歌を披露し、その後似顔絵や輪投げなど交流を図る	小学生の方から申し入れがあり受け入れる形で実現	日頃子どもと接することが少ない入所者の皆様から喜ばれる	小学生との連携	子どもと接することが少ない入所者の皆様に喜ばれる	移転改築に伴い新たな小学生との交流	
5	M	保育園児との交流	保育園児が来園し歌や踊りを披露される	保育園の方から申し入れがあり受け入れる形で実現	日頃子どもと接することが少ない入所者の皆様から喜ばれる	保育園との連携	子どもと接することが少ない入所者の皆様に喜ばれる	移転改築に伴い新たな保育園児との交流	
6	S	実習生・研修生の受入等	福岡県社協や大学等からの実習生・研修生についてはできるだけ受け入れている	実習生・研修生については地元の方が多く、極力受け入れるようにしている	地元の方に施設を知っていただくいい機会でもある	福岡県社協及び大学生等との連携	地元の方に施設を知っていただく	今後も受け入れるようにしていきたい	

P施設

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか(実施してる 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらし	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活動	⑥関係機関との連携	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
1	C	クリスマス会	今年12月実施予定のクリスマス会へ一部地域の老人会招待を計画	地域交流スペースが広がった為、入所者家族の招待を計画し併せて近隣の老人会に招待を計画	施設入所者・家族と伴に交流予定	特に無し	予定事業に為成果未定		
2	L	踊り披露	高齢者舞踊教室の発表の場として地域交流スペースを提供	当施設の踊りの講師が他で高齢者教室を実施され、練習成果の発表の場を提供して欲しいと要望がある。	施設入所者が観客として参加	特に無し	施設入所者と同世代の方々が踊りを披露する姿を見て刺激になった		
3	S	実習生・研修生の受入	教育実習生の受入	学校より依頼あり	施設入所者の処遇の活用	特に無し	実習生の受入を行う事により職員のスキルの見直しにも繋がる		
4	O	ボランティアの受入	T企業新人教育の一環にてボランティア受入。環境整備や入所者交流等	T企業新人研修担当者より依頼あり	施設入所者への交流	特に無し	恒例で新人を受け入れることにより当施設の新人へ刺激に繋がる		

地域(社会)貢献活動に関するアンケート

目的 ①養護老人ホームで既に実施(取り組み予定を含む)している「地域(社会)貢献活動」の実態把握及び実例を紹介することで地域(社会)貢献活動の認識を深める
②上記の結果を「措置機関」及び「関係機関」に紹介して、積極的に養護老人ホームの実態への理解を深める一助にする

施設名

記入担当者

以下アンケートにご協力お願い致します

1 地域(社会)貢献と思われる活動を実施していますか？ (実施している 実施していない 活動が地域貢献活動に当てはまるか不明)

2 1で「実施している」「活動が地域貢献活動に当てはまるか不明」と答えられた施設は以下の設問にご協力ください

ねらい	各施設の活動内容の把握				どのような手段で		結果	今後の展開方法	特記事項
No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
記入例	B	〇〇行政区環境美化活動			施設利用者とともに参加	〇〇行政区との連携	利用者にとって「行政区の一員である」という自覚につながった	行政区との共同活動の継続	
1									
2									
3									

※ 活動種類			【施設を活用した活動】			【生活困窮者等に向けた活動】		
【地域住民向けの活動】			【施設を活用した活動】			【生活困窮者等に向けた活動】		
A	地域における子育て支援(サロン活動、学童預かり等)		L	高齢者施設等の交流活動、団体・サークル活動の受入れ		U	生活困窮者への支援(相談支援・一時的な居住等の支援の実施・就労訓練事業(いわゆる中間的就労や社会参加活動の実施))	
B	環境美化活動		M	施設を活用した地域住民との交流の取り組み		V	地域における成年後見人等の受託	
C	夏祭り、文化祭、敬老会、スポーツ大会等の開催		N	施設や建物の一部(交流室等)、設備を地域住民に貸し出す取り組み		W	低所得高齢者等の居住の確保に関する支援	
D	施設の職員を地域の公民館、学校等へ派遣し行う講話活動		O	ボランティアの受け入れや施設職員のボランティア活動		X	貧困の連鎖を防止するための生活保護世帯等の子どもへの教育支援	
E	高齢者サロン(介護予防教室等)の取り組み等		P	災害時の受け入れや救援活動への参加、支援物資の提供等		Y	ひきこもり者、孤立した高齢者、虐待を受けている者等の居場所づくりや見守りの実施。	
F	地域の高齢者等への配食サービス		Q	施設を活用し、地域住民が農作物や加工品等を販売する取り組み		Z	触法者等への福祉的支援	
G	地域見守り活動への参加		R	施設を活用した食育活動や料理教室等の取り組み		AA	その他	
H	地域における介護・認知症への支援(介護教室等)		S	実習生・研修生の受け入れ等				
I	地域の高齢者や障害者等への買い物支援やちょっとした生活支援		T	その他				
J	施設職員が地域の消防活動へ参加							
K	その他							

No.	①※活動種類(下記から選択ください)	②施設での活動名	③活動概要(50字程度)	④活動に至った背景(50字程度)	⑤人材や資源の活用	⑥関係機関との連携等	⑦事業成果	⑧今後の課題	⑨その他
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

※ 活動種類			
【地域住民向けの活動】		【施設を活用した活動】	
A	地域における子育て支援(サロン活動、学童預かり等)	L	高齢者施設等の交流活動、団体・サークル活動の受入れ
B	環境美化活動	M	施設を活用した地域住民との交流の取り組み
C	夏祭り、文化祭、敬老会、スポーツ大会等の開催	N	施設や建物の一部(交流室等)、設備を地域住民に貸し出す取り組み
D	施設の職員を地域の公民館、学校等へ派遣し行う講話活動	O	ボランティアの受け入れや施設職員のボランティア活動
E	高齢者サロン(介護予防教室等)の取り組み等	P	災害時の受け入れや救援活動への参加、支援物資の提供等
F	地域の高齢者等への配食サービス	Q	施設を活用し、地域住民が農作物や加工品等を販売する取り組み
G	地域見守り活動への参加	R	施設を活用した食育活動や料理教室等の取り組み
H	地域における介護・認知症への支援(介護教室等)	S	実習生・研修生の受け入れ等
I	地域の高齢者や障害者等への買い物支援やちょっとした生活支援	T	その他
J	施設職員が地域の消防活動へ参加		
K	その他		
【生活困窮者等に向けた活動】			
U	生活困窮者への支援(相談支援・一時的な居住等の支援の実施・就労訓練事業(いわゆる中間的就労や社会参加活動の実施))		
V	地域における成年後見人等の受託		
W	低所得高齢者等の居住の確保に関する支援		
X	貧困の連鎖を防止するための生活保護世帯等の子どもへの教育支援		
Y	ひきこもり者、孤立した高齢者、虐待を受けている者等の居場所づくりや見守りの実施。		
Z	触法者等への福祉的支援		
AA	その他		

○ご協力ありがとうございました。後日、詳細の確認が必要な場合は再度ご協力をお願い致します。

養護老人ホーム部会 委員名簿

任期 平成25年4月 1日
平成27年3月31日

役職名	氏 名	施設名	施設住所・電話番号等	選出区分
部 会 長	永 野 教 任	博多老人ホーム	〒811-0201 福岡市東区三苫 2-28-41 TEL 092-606-2380 FAX 092-606-2654	福 岡 市
副 部 会 長	手 嶋 實 双 葉		〒818-0111 太宰府市三条 1-4-1 TEL 092-922-3557 FAX 092-922-6211	福 岡
委 員	松 尾 和 明	白 寿 園	〒823-0001 宮若市龍徳 1328 TEL 0949-32-0031 FAX 0949-32-0041	筑 豊
委 員	組 坂 敏 和	朝 倉 苑	〒838-0824 朝倉郡筑前町原地蔵 2226-3 TEL 0946-22-2881 FAX 0946-24-8322	筑 後
委 員	田 中 英 樹	篠 原 の 里	〒819-1129 糸島市篠原西 2-13-13 TEL 092-322-2429 FAX 092-322-6511	福 岡
委 員	前 野 義 章	明 光 園	〒831-0032 大川市北古賀 559-1 TEL 0944-86-4780 FAX 0944-86-4751	筑 後